

## 中野区総合教育会議 次第

- 1 日 時 令和4年(2022年)1月21日(金) 午前11時から
- 2 場 所 区役所7階第8・9会議室
- 3 出席者 (構成員)  
区長  
教育委員会教育長、委員  
(関係職員)  
白土副区長、横山副区長、企画部長、総務部長、子ども教育部長・  
教育委員会事務局次長、子ども教育部子ども家庭支援担当部長・教  
育委員会事務局参事(子ども家庭支援担当)、企画部企画課長、総  
務部総務課長、子ども教育部・教育委員会事務局子ども・教育政策  
課長、教育委員会事務局指導室長
- 4 議 題 中野区教育大綱に盛り込む内容について

令和3年度

# 第1回中野区総合教育会議

議題：中野区教育大綱に盛り込む内容について

- 1 前回の総合教育会議
- 2 教育大綱の改定に向けて
- 3 今後の中野の教育のあり方について

令和4年1月21日(金)

### ① 多様性(ダイバーシティ+インクルーシブ)を尊重し、自己肯定感を育む心の教育

- ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、国籍や文化の違い、性別、障害の有無等にかかわらず、一人ひとりが安心して学べる環境を構築していく。
- 一人ひとりがその個性や特性に応じて包括的かつ継続的に支えられる仕組みを構築することで、「支え・支えられる」教育を実践していく。

### ② 地域に支えられて育ち、地域に貢献できる子どもを育む教育

- 学校と保護者や地域で暮らす多様な人材など、区内の資源を十分に活用し、地域全体で学ぶ環境を整備するとともに、経験を地域活動に生かす教育を一層推進していく。
- 学校・家庭・地域や保幼小中の連携を一層推進するほか、民間が持つノウハウやアイデアを最大限に活用し、教育を支える地域の力をさらに高めていく。

### ③ 豊かな情緒や個性、価値観を育み自ら表現できる教育

- 幼児期から学齢期にかけて、伝統・文化・芸術など「ほんもの」の文化に触れることで、豊かな情操を養うとともに、それを自己表現できる教育を推進していく。

### ④ 時代の変化に対応した教育

- 情報化社会が著しく進展する社会において、ICT教育はもとより、コミュニケーション能力などの「生きる力」を身につける教育をさらに充実させていく。
- 教育環境のICT化によって、教員の働き方改革をさらに推進し、教育の質の向上を図っていく。
- 一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、基盤となる能力や態度を育むキャリア教育を推進していく。

## 2 教育大綱の改定に向けて（これまでの経過）

（背景）

- 1 令和3年3月区政の基本指針である**基本構想が改定**され、新しい目標を実現するための**基本計画の運用**がスタートした。
- 2 基本構想の理念でもある「**誰一人取り残されることのない地域社会**」の実現には、地域社会と学校との関係を充実していく必要がある。
- 3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による感染対策や**新しい生活様式に対応した教育環境の整備**が求められている。
- 4 学校では、新しい学習指導要領がスタートし、「**生きる力**」を育むという**理念**を実現するための取り組みが行われている。

これらの背景を元に、新時代に向けた中野の教育を考えていく必要がある。

→ **新しい基本構想を踏まえた教育の指針（教育大綱）を見直していく。**

### 3 今後の中野の教育のあり方について

#### － 中野の教育が目指すもの －

基本構想の「誰一人取り残されることのない」理念のもと、

- ◎ 地域全体で子どもの「生きる力」を育む教育
- ◎ 多様性を尊重し、自己肯定感を育む教育
- ◎ すべての子どもに、一人ひとりに応じた学力、体力向上を目指す教育

#### 基本的な理念と実現するための3つ視点

##### (理念) 未来ある子どもの育ちを地域全体で支える

- 1 家庭や地域の人財との協働による学校運営
- 2 中野の強みや特徴をいかした学びの連続性
- 3 特色ある学校づくりと地域活動

##### (キーワード)

- ・ 中野らしさ
- ・ 多様性の尊重
- ・ グローバル化
- ・ 子どもの権利
- ・ 主体的な学び
- ・ 対話的な学び
- ・ 国語力、読書力
- ・ 伝統、文化教育
- ・ 道徳教育、体験活動
- ・ 社会教育、家庭教育と学校教育の連携
- ・ 保幼小中の学びの連続
- ・ 就学前の早期教育
- ・ 地域への参加